

プラン策定委員が

じっくり内容を検討

日野町では、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めるため、目標や方法など計画を作っていくことが必要と考え、「日野町男女共同参画プラン」を策定しました。

このプラン（計画）は、住民の皆さんの意見を広く取り入れていこうと、各種団体や一般公募者の12人を委嘱し、町男女共同参画プラン策定委員会を設置しました。

昨年9月12日に第1回目の委員会（景山享弘委員長）を開き、約1か月に1回のペースで計画の目的や内容、取り組み方法などの検討を重ねま



プラン策定の目的や内容を一つずつ検討する委員ら



委員会をまとめる景山さん

した。今年の1月23日、5回目の同プラン策定委員会で計画の原案をまとめ、町長に提出しました。

女性の社会参加を支援 一人ひとりが自分らしく

プラン（7か年計画）は「すべての人の人権が尊重される」「あらゆる場面に参画できる」「少子・高齢化に対応」「安心して働ける」の4つを基本目標に、一人ひとりが自分らしく輝いていけるまちづくりを目指します。

今後、女性の社会参加を支援するため、広報啓発活動、学習機会の提供、リーダー・団体養成などに取り組めます。また、女性に対する暴力（セクシャル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンス）などの相談体制を充実、子育て・介護支援体制などの整備も図っていきます。

家事分担の7割超が女性

住民意識調査より

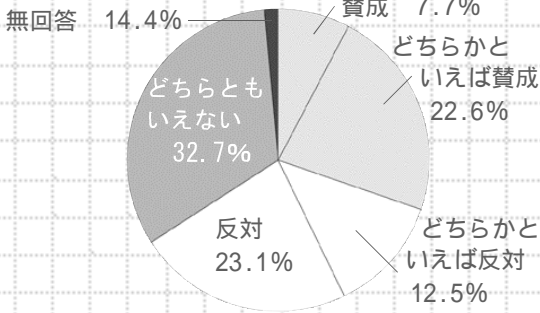
昨年2月に実施した住民意識調査（町内在住18歳以上の男女無作為抽出）の結果を見ると、「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方について、賛成意見が30・3%、反対意見が35・6%、どちらともいえないが32・7%という結果になりました。

また、食事の準備、洗濯、

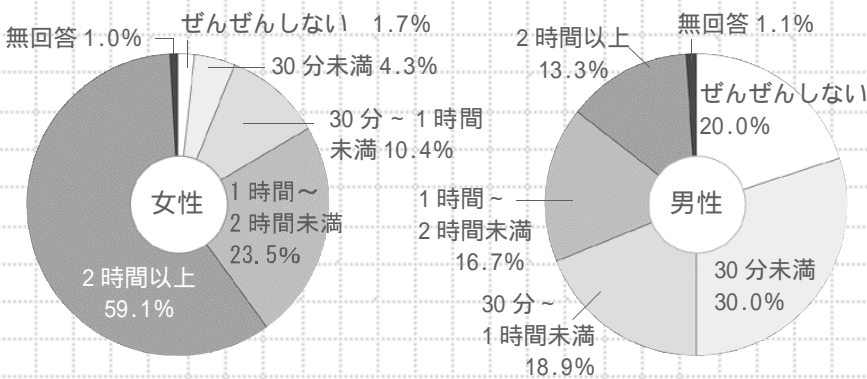
「男は外で働き、女は家庭を守る」という考え方について

グラフデータ（人）

	男	女
20代	9	16
30代	9	18
40代	13	17
50代	14	18
60代	20	22
70代以上	25	22



1日（平日）の家事労働時間



買い物、掃除など家庭内の役割について、70%以上の女性が主に担当しているという結果が出ました。

「男女共同参画」という言葉を知っていても、現実には、家事や育児など家庭のことは、女性が担当するという性別的役割分担の意識が強く、家事をする男性は、まだ少数だということが意識調査からうかがえます。

男らしく、女らしく。
どんな意味でしょうか

世の中には、男性と女性の考え方で「男らしく、女らしく」という生物学的な性ではない、社会的文化的な性（ジェンダー）があります。

「男らしく、女らしく」とはどのようなことでしょうか。親の価値観で、子どもの行動や考え方を制限していませんか。そうした価値観の押しつけは、自由な考えや個性、発想をつぶしてしまうこともあります。

男女が対等なパートナー みんなで考えてみよう

男女が互いに、社会の対等なパートナーとして尊重し合い、喜びも責任も分かち合う「男女共同参画社会」を実現していくには、住民の皆さん一人ひとりの取り組みが必要です。

だれもが自分らしさを十分に発揮できれば、活動の分野や視野も広がってきます。男女共同参画社会の実現に向けて、これからの男女のパートナーシップについて、身近なところから考えてみましょう。